

# 新型感染症で明らかになった医療提供体制の主な課題と対応の方向性

課題	緊急時対応の強化	平時の構造改革
救急医療体制が弱く、救急患者の十分な受入が困難。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民間病院を含め緊急時に必要な医療資源を動員できる制度的仕組みを構築。</li> <li>○特に、体制が弱く分散している救急医療を集約し、大規模・強力な体制を構築。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○次期医療計画において、救急医療体制の集約化・大規模・強化を推進。</li> <li>○地域医療連携推進法人制度を強化し、経営統合を推進。</li> </ul>
ICUや救命救急等を取り扱える医師・看護師等の人材が不足。		<ul style="list-style-type: none"> <li>○救急救命医等の育成に向けた長期目標・財政支援等により、診療科の偏在を克服。</li> <li>○看護師の機能を多層化し、高度な機能を担う看護師の職責を拡大。</li> </ul>
病院数・病床数が多く、医師・看護師が薄く分散。		<ul style="list-style-type: none"> <li>○1入院当たりの包括払いを原則とする診療報酬への転換等により、病床数や在院日数を適正化。</li> </ul>
医療機関間の役割分担や連携が不足。診療所は宿泊療養・自宅療養の管理に大きな役割を果たせず。		<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域医療構想を推進し、「病院完結型システム」から「地域完結型システム」へ移行。</li> <li>○診療報酬のインセンティブの強化等により、医療機関の機能分化や統合を推進。期限付きの財政支援等により、強力に推進。</li> <li>○かかりつけ医機能を制度化し、コロナ対応、オンライン診療等を包括的に提供。</li> </ul>
看護師資格を有する者は多い、看護師不足が顕著。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○予備看護師制度を創設。看護師に対する研修と即時連絡体制を構築。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マイナンバーを活用したオンラインによる資格管理体制を構築し、看護師の登録制の実効性を確保。</li> </ul>